



夜のお散歩
(ベースキャンプ)



割り算の問題を
自分で作ったよ!
(学びの探究塾)



くにしまりりの
シャッターチャンス
じゃないですか?



射的大会
(ベースキャンプ)



世界に一冊だけの
本・展に行ったよ
(ベースキャンプ)



暗くても
ボールパークで遊べるよ
(ベースキャンプ)



英語でカルタ
(学びの探究塾)



子ども主催!
腕相撲大会
(ベースキャンプ)



クリームシチュー作り
(ベースキャンプ)



ココアで算数をしてから
飲んだよ!
(学びの探究塾)



みかん箱通信 冬号 No.7

2025年12月31日発行



もっと知りたい
「みかん箱」



こんにちは、スタッフのゆいです! 今回のみかん箱通信は、みかん箱に関わっているおとなが沢山出てきます。え?! こんな人も?! あんな人も?! 子どもからしたら、おとなが、ちょっと固い・怖い部分もあるかもしれません。でも、多くの人に支えられ、見守られながら、日々何不自由なく過ごせているのだな、と感じます。おとなの想いが大集結です! みかん箱通信、ラッキーセブン号です〜!! (スタッフ 宮原ゆい)

編集後記

No.7にして改めて「みかん箱」について深掘り。何度か目になっているみかん箱通信。ぜひこのNo.7でみかん箱の解像度を上げていきましょう。気になることがあればSNSやHPをご覧ください! (編集員: 國嶋)

みかん箱通信 冬号 No.7

2025年12月31日発行

一般社団法人みかん箱
〒040-0053
北海道函館市末広町9-9
電話 0138-84-5762

●発行人: 菅我直人
●デザイン: スギナカモモコ
●みかん箱通信編集員:
押野友美、福田琢磨、
宮原ゆい、國嶋莉々



子ども
第三の
居場所

無料

みかん箱運営報告

小学生会員数	9人
中高生会員数	13人
ボランティア数	4人
非常勤職員数	9人
常勤職員数	1人

(2025年12月31日時点)



— こどもがいくところ、おとながいるところ —

おしのともみの
きになることも、きてきました！

みやはら
宮原ゆいさん(24)
ベースキャンプスタッフ



昨年9月からみかん箱のスタッフになった。学校でも家でもない。ただ居るだけでも、ここだから良いなと思うことをできたらいいと思う。
ルールを言われることはあるが、みかん箱は良い意味でルールなし。自分で得意、不得意を見つけたら良いと思う。
コアタイムはおとなが考えて、こどもがやるのではなく、こどもがやりたいということができたなら良いかな。自分がやりたいことをやれるようになれば。
こどもたちと接していて、自分もこういう時期があったなと思うこともある。キャンプやスキーもこどもたちと楽しみたい。

こがめいづるさん(53)
学びの探求塾・ベースキャンプ・ブラッシュアップスタッフ

その子にあった学びについて考え、どうやってやる気があるか、どうしたら楽しくできるかを考えている。
小学生の探究塾は学校の勉強とは少し違っておもしろいことや、気づき、発見、じっくり考えることをメインに季節にあったカリキュラムを実施。1人ずつ個別で向き合い、英語と数学にじっくり取り組んでいる。それぞれの個性、アイデアを大事にしたいと思う。「勉強っておもしろい、あの時のあの時間楽しかったな」と思ってもらえたら。
みかん箱の強みは勉強だけでなく、人とかものに出会えること。自分たちの世界を広げてほしい。



たなべ たつま
田部達磨さん(21) ベースキャンプボランティア



大学の地域プロジェクトがきっかけで、5月から週に1度のベースでベースキャンプに来ている。みんなが協力して取り組んでいるのが新鮮。消極的な関わり方ではなく、いろいろなアプローチがあるんだなと思っている。
自分の経験から、こどもたちが変われるきっかけになればいいと思う。悪影響にならないように発信して、こどもたちがここから何かを読み取り、良い方向にいけるようにしたい。
コアタイムの活動は楽しい。こどもの頃から取り組んでいる折り紙や、ゲームなど自分の得意分野でこどもたちの視野を広げていけたら良いなと思っている。

外部の方から
の言葉

たまに遊びにく
のらねこ会員
やなぎはらかずや
柳原和也さん

みかん箱の印象

「みかん箱」という名前がまず良い。子どもの頃のガラクタ(自分の宝物)を入れた箱のように、当時は価値や意味が分からなくても、時を経て思い出に変わる。みかん箱の活動も将来その価値が明確になるはずだ。

子どもへのメッセージ

今の子どもたちが主体となって社会を動かしていくようになる15年後、2040年を想像し、悩み、動いてほしい。目の前の問題だけでなく、将来の自分が何をしたいかを思い描き、ワクワクしながら小さな一歩を積み重ねていこう。

見学に来た
マレーシア国民大学
Mohd Suhaimi Mohamad
(スハイミさん)

みかん箱の印象

初めて訪れた時にまず驚き、ワクワクした。ここは公平な場であり、子どもたちは判断されたり評価をつけられることがない。子どもたちにとって重要な、料理や読み物、踊りなど有意義な活動がある。そして、大人は親切さを持って活動している。



子どもへのメッセージ

みかん箱は温かく、平和で安全な場所。ここでは成長、挑戦、間違い、質問などなんでもできる。ここにいる大人(staff)は、みんなを信じていて尊重しているよ。

函館市子ども未来部
子ども健やか育成課 主査
しなだ ともひろ
品田朋廣さん

みかん箱の印象

やりたいことを自由にでき、アットホームな印象。たくさんの個性豊かなおとなが関わり、子どもたちと一緒にワクワクや心落ち着く居場所を作り出している。子どもも肩肘を張っておらず、生き生きとここでの時間を過ごしていると思う。もっと多くの人に知ってもらい、利用してほしい場所。

子どもへのメッセージ

自分にとっての居場所をたくさん見つけてほしい。みかん箱のおとなは受け入れてくれるので、ここに来た時には素の自分を出して。函館を離れ、いろんなものを見て、視野を広げるのも良い。ただ、また函館に帰ってきてほしい。おとなになったら時々みかん箱に遊びに来てくれたら嬉しい。

見学に来た
北海道教育大学函館校
なかむら なおき
中村直樹さん

みかん箱の印象

探検チェックでわくわくするような空間で、面白く多様な人間が、誰もが受け入れられた居心地の良い時間と空間を作り出している。

子どもへのメッセージ

答えを出すことよりも、「今やるべきことは?」「大切な人は誰?」などの良い・正しい質問を自分に投げかけることが大切だ。答えを見つけること以上に、それを探している過程こそが重要で、その中で自分にとって本当に大切なものが見えてくる。そうして人生は豊かになっていく。また、自分を受け入れることで他者を受け入れることができる。自分と同じように、他者にも大切なものがある。



どんちとところ?
臥牛館内の詳細はコチラから!



みかん箱があるのは、
『カルチャーセンター臥牛館』



040-0053
函館市末広町 9-9 カルチャーセンター臥牛館

? 教えてみかんちゃん!

みかん箱って?

「こどもがいくとこ、おとながいくとこ」をキャッチコピーに、「学び・出会い・感動を繰り返して人生を豊かにする」ことをモットーに活動していて、主に小学生対象「学びの探求塾」と中高生対象「ベースキャンプ」があるんだ。

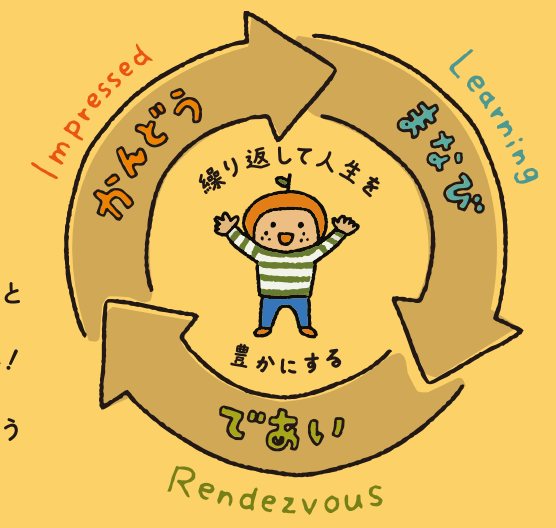
みかん箱メソッド

学び 出会い 感動

を繰り返して人生を豊かにする

- 学び → 勉強などの座学の学びだけでなく体験や人との関わりを通して学ぶこと
- 出会い → ヨコやタテの出会いだけでなく、ナナメの出会いや一期一会もたくさん!
- 感動 → 学びや出会いを通じて、自分にビビッとくる・感動するものに出会う

これらを繰り返して少しでも人生を豊かにする!



オープンみかん箱



みかん箱会員・保護者・地域・一般の方々、誰でも参加できる地域交流イベント。
スタッフの特技を生かしたものやゲストをお招きしてトークやアクティブな活動、もの作り、音楽など様々な分野のものを開催!

これまでのオープンみかん箱	
2025年9月	本作りワークショップ (2回目)
2025年7月	北海道教育大学函館校「まなびプロジェクト」出展
2025年6月	汐首山に行こう (雨天中止)
2025年3月	阿部光平さん・まるちゃんトークイベント
2024年12月	ソガ直人・ワタナベヒロシの演奏会
2024年9月	本作りワークショップ
2024年5月	キックオフイベント